



通信

HP 学校だより
R6. 12. 23
NO. 3 4
文責 伊藤美佳



2学期を終えて

今年の2学期は、たくさんの行事がありました。

9月はとても暑くて、登下校を心配しました。鈴木化学工業所様のご好意で、給水時期を延長してくださり、とても助かったことを覚えています。(何度もテレビ取材がありました。) また、暑さのためにすもうの練習が満足にできなかったのも、初めてでした。その中でも、PTAの奉仕作業、資源回収と豊坂小学校のために活動していただき、本当にありがたかったです。子どもたちは、学校のため、地域のために活動してくださっている保護者の皆さんの姿を、あこがれの気持ちで見ていることでしょう。

10月になると、「すもう大会」がありました。残念ながら雨のため延期となり、紅白対抗は学年での開催となりました。代表者戦は全校で応援して開催することができました。何回見ても、代表者戦での応援の声は感動します。稲刈りや脱穀といった季節の行事も行われました。「就学児健診」では、来年度90名以上の1年生を迎える5年生が、やさしく対応してくれました。23日に実施した「研究発表会」では、子どもたちの意欲を高める教材を使って、各学級で生き生きと学ぶ子どもたちの様子を多くの先生方にご覧いただきました。そこでいただいたご意見をもとに、振り返り、最適解を見つける努力を続けていきます。ここで扱った教材を使って、最後まで学びきった子どもたち、そして先生方を誇りに思います。



11月は、「学芸会」です。当日近くになると、歌を歌いながら登下校する子どもたちの姿が見られ、とても微笑ましかったです。次回のPTA新聞にも、学芸会についての感想が書かれています。それを読むと子どもの成長がよくわかります。そのことから自分の役について、考え、演じることが、子どもたちのこれからの人生の助けになると信じています。6年生の「修学旅行」では、自分たちで決めたスローガンを守れるように行動したり、お互いに声をかけたりする姿が見られ、成長を感じました。残りわずかな豊坂小学校での生活で、下学年の子どもたちの「あこがれ」の存在になってくれることを願います。

12月は、「マラソン大会」です。今年度は練習期間が短くなってしまいましたが、自分で目標を決め、練習を重ねる子どもたちの姿に出会うことができました。また、2年生が学級閉鎖のために10日遅れで実施することになりましたが、全校が応援する中で走り切った子どもたちの顔は、とても誇らしげでした。その日に病気で欠席となってしまったひまわり学級の子の一人マラソン大会も、多くの子が応援をしてくれました。とても温かい雰囲気があり、豊坂っ子のすてきなところを改めて感じました。

こうして、たくさんの行事や学びをした2学期が今日で終わります。皆さん、良いお年をお迎えください。そして、1月7日(火)に元気な子どもたちに出会えることを楽しみにしています。